

16. 入院患者の転倒・転落発生率

17. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（レベル 2 以上）

18. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（レベル 4 以上）

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものまでさまざまなものがあります。

転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に傷害が発生した損傷発生率と患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標とすることに意味があります。転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくても、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡すると共に、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

転倒・転落の事故レベルは、患者影響レベルとして独立行政法人国立病院機構における医療安全管理のための指針に準じています。

① 当院の定義・計算方法

分子：17—安全管理室へ報告された転倒・転落の「インシデント・アクシデントレポート」件数

18—安全管理室へ報告された転倒・転落の「インシデント・アクシデントレポート」件数のうち、事故レベル 2 以上の件数

19—安全管理室へ報告された転倒・転落の「インシデント・アクシデントレポート」件数のうち、事故レベル 4 以上の件数

分母：入院のべ患者数

② 当院の数値

2013 年度 17—0.28%（日本病院会 平均値 2.52%）

18—0.1%（日本病院会 平均値 0.05%）

19—0%